

松本市地域づくり推進交付金実績報告書(抜粋)

(申請者)新村地区あたらしの郷協議会

1 交付決定額	I	金 550,000円
---------	---	------------

2 本年度実績の報告

(1) 本年度の交付金事業の報告

① 事業名: あたらしの郷協議会の組織・運営事業				
実施主体	あたらしの郷協議会「広報委員」			
実施日(期間)	令和5年4月19日～令和6年3月31日			
実施場所	新村地区内			
事業概要	新村地区あたらしの郷協議会の活動について、毎月広報誌を発行し、地域へ情報をタイムリーに周知した。			
地域づくりの成果・効果	住民向けの便り(あたらしの郷通信)を発行することで、協議会が現在何に取り組んでいるか、どんな地域の課題があるのか等を広く周知することができた。			
課題	委員に松本大学生の参画を検討			
決算額	a+b+c	財源内訳		
		a	b	c
	108,380円	108,380円	0円	0円

a : 本年度の交付金額のうち、この事業に充当した額

b : 前年度の交付金の繰越額のうち、この事業に充当した額

c : この事業に充当したその他の財源の額

② 事業名: 地域振興事業				
実施主体	あたらしの郷協議会「地域振興部会」			
実施日(期間)	令和5年4月19日～令和6年3月31日			
実施場所	新村地区内			
事業概要	高齢者の居場所づくりと、松本大学との交流事業の推進			
地域づくりの成果・効果	松本大学生と地区高齢者との交流と居場所づくりが図られた。			
課題	空き家対策に関する取り組み			
決算額	a+b+c	財源内訳		
		a	b	c
	20,000円	20,000円	0円	0円

③ 事業名：安全安心事業				
実施主体	あたらしの郷協議会「安全安心部会」			
実施日(期間)	令和5年4月19日～令和6年3月31日			
実施場所	新村地区内			
事業概要	安全安心なまちづくりをめざし、「地域防災」を中心に取り組みました。 ①保育園避難訓練(松本大学防災士コース学生と協働) ②避難所運営及びマニュアルの見直し ③道路標示の再点検 ④地区防災計画の全戸配布			
地域づくりの成果・効果	①保育園の避難訓練は、松本大学の協力を得て地域と大学、保育園の連携が図られた。 ②松本大学避難所運営委員会の組織構成及びマニュアルの見直しについて、委員会を発足し意見交換ができた。 ③通学路等の危険個所の改善が図られた。			
課題	地区防災計画策定に伴う次年度以降の計画の実行			
決算額	a+b+c	財源内訳		
		a	b	c
	495,586円	52,596円	22,987円	420,003円

④ 事業名：生きがいづくり支援事業				
実施主体	あたらしの郷協議会「いきいき部会」			
実施日(期間)	令和5年4月19日～令和6年3月31日			
実施場所	新村地区内			
事業概要	高齢者をはじめ誰もが地域でいきいきと暮らせるよう、生きがいづくりを支援した。 ①「メンズサロン“パティオ・にいむら”」を実施した。防災フェスティバルで出張パティオを実施した。 ②俳句・川柳の投稿文芸企画の継続。 ③地域ケア会議と連携しグループワークを実施した。 ④松本大学の講師を招き学びの友部会と協働で男性のフレイル予防講習会を開催した。 ⑥有償ボランティア「新の里お助け隊」発足に協力した。			
地域づくりの成果・効果	生きがいの場づくりやフレイル予防に一定の成果が見られた。 身近な課題に対応できる有償ボランティアの立ち上げに協力できた。			
課題	実効性のある地域包括ケアシステムの構築 既存のボランティア(プチ送迎ボランティア)の担い手不足			
決算額	a+b+c	財源内訳		
		a	b	c
	123,112円	123,112円	0円	0円

⑤ 事業名：学びの支援事業				
実施主体	あたらしの郷協議会「学びの友部会」			
実施日(期間)	令和5年4月19日～令和6年3月31日			
実施場所	新村地区内			
事業概要	<p>それぞれの事業の学習や実践を通して、人と人の繋がりを創る、開かれた「学びの場」づくりを推進した。</p> <p>① 地域学習テキスト「あたらしの郷」の勉強会「新村を語る会」を新村地区文化財保存会、公民館と協働し9回実施</p> <p>② 小中学生を対象とした「公民館寺子屋」を開設し、部会員を講師に世代間交流を行った。</p> <p>③ 地区の歴史再発見講座(上新東・西町会の史跡巡り)を開催</p> <p>④ 「ものぐさ大学」、公民館と共催で、他地区の史跡、美術館等特別講座を9回開催</p> <p>⑤ フレイル予防講座をいきいき部会と共催で開催</p>			
地域づくりの成果・効果	<p>地域学習テキストの勉強会「新村を語る会」を通して、テキストの有効活用と文化財等地域の魅力を再確認することができた。</p> <p>学習の場を通じて地区の活性化や連帯感の強化に繋がった。</p>			
課題	地域学習テキストを活用した文化財の維持・継続のための担い手づくり			
決算額	a+b+c	財源内訳		
		a	b	c
	27,516円	27,516円	0円	0円

決算額(計) (①+②+③)	A+B+C	財源内訳		
		A	B	C
	774,594円	331,604円	22,987円	420,003円

A：各事業のaの合計額

B：各事業のbの合計額

C：各事業のcの合計額

(2) 本年度の積立実績の報告

事業名:避難所運営の見直し及びマニュアル見直し資金積立事業					
積立目的	避難所運営の見直し及びマニュアル見直し関連事業の実施				
積立期間	令和5年度(本年度 1年目)				
積立ての目標金額	165,000円				
積立実績	区分	積立額	積立事業への積立金充当額	差引累計	
	前年度までの積立経過	1年目	165,000円	円	165,000円
		2年目	円	円	円
		3年目	円	円	円
		4年目	円	円	円
		5年目	円	円	円
	本年度の積立実績	D	165,000円	E	円 F
合計額		165,000円	円		
本年度積立金を充当して実施した事業の概要					
実施主体	新村地区あたらしの郷協議会				
実施日(期間)	令和5年4月				
実施場所	地区内				
事業概要	新村地区防災計画冊子印刷及び全戸配布				
地域づくりの成果・効果	地域防災における自助・共助の意識啓発				
決算額	E+G	財源内訳			
	484,000円	E	G		
		330,000円	154,000円		
充当後の積立事業取扱方針					
積立継続(一年度まで)・廃止					
廃止する場合は、積立金残高(F)の処理方法 残高なし					

E : 充当した積立金の額

G : その他の財源の額

※ 事業が2以上ある場合は、枠を増やして記載すること。

(3) 本年度の交付金のうち、翌年度に繰り越す金額の報告

I-A-D	金	53,396円
-------	---	---------

[参考]繰越上限額 = I × 2 / 10

3 添付書類

- (1) 事業実施が確認できる資料(チラシ・パンフレット、写真、新聞記事等)
- (2) 積立をおこなった場合は、松本市地域づくり推進交付金積立承認通知書の写し